



ソーシャルビジネス

知り、学び復興支援する。
そして、地域を、世界を
変えていく。

NPO・NGO

社会貢献

市民活動

これまでの日本企業には見られなかった積極的なCSR事業を展開するユニクロ。
そのCSR部から、ソーシャルイノベーションチームリーダーの
シェルバ英子氏をゲストに特別講座を開催します。

国際協力

IVY Social School Vol.1



ゲスト

シェルバ 英子 氏

(株)ユニクロ CSR 部

ソーシャルイノベーション
チームリーダー

シェルバ英子さんは、ユニクロのCSRを牽引してきた若きリーダー。世界の現場を渡り歩く彼女から、ユニクロの企業戦略においてCSRはどのような位置づけにあるのか、具体的な話を伺います。

東日本大震災の支援活動において、ユニクロとIVYは緊密な連携関係を築いてきました。当日は、IVYの安達三千代事務局長も参加し、なぜユニクロが東北のNPO/NGOであるIVYと協働するに至ったのかを探ります。また、「営利を求める」企業と「非営利が原則」であるNPO/NGOの矛盾を抱えた関係性と、その矛盾を超えてより効果的なパートナーシップを築いていくためには何が必要なのかを考えます。

特別講座

企業とNGOの
進化する
パートナーシップ

12/15(土) 18:30-20:30
エル・パーク仙台

企業とNGOの進化するパートナーシップ

GUEST



シェルバ 英子氏

(株)ユニクロ CSR部
ソーシャルイノベーションチームリーダー

大学卒業後、外資系アパレルを経て、2001年、株式会社ファーストリテイリング入社。以来、社会貢献活動を担当し、全商品リサイクル活動をはじめとする国内外の社会貢献活動を推進。2006年、立教大学大学院21世紀社会デザイン学科卒業。2010年からはユニクロ ソーシャルビジネス バングラディッシュリミテッド プランニング・コミュニケーションも兼任。



対談者

安達 三千代

認定NPO法人 IVY 事務局長

1993年からIVYの活動に携わり、1999年4月から現職。(特活)国際協力NGOセンター(JANIC)理事、外務省NGO相談員。大学での講師多数。東日本大震災の発生後、被害の少なかった山形を拠点に緊急支援を開始、国際協力の経験とノウハウを活かし刻々と変わる現地のニーズに合致した支援を行っている。



【認定NPO 法人 IVYとは】 1991年に山形で設立された国際協力NGO。カンボジア農村部での貧困削減プロジェクトや山形県の在住外国人問題等に取り組んでいる。東日本大震災発生後は、石巻、気仙沼を中心に活動し、福島から山形に避難している母子支援等も行っている。ユニクロの復興応援プロジェクトパートナー団体。2012年9月、宮城県の拠点としてIVYみやぎを設置。

日時

12月15日(土) 18:30-20:30 (2時間)

会場

エル・パーク仙台 セミナーホール

仙台市青葉区一番町4丁目11番1号 141ビル(仙台三越定禅寺通り館)5階

参加費

1,000円(学生500円)

申込

下記の内容で、メールまたはFAXを送ってください。
IVYみやぎHPの専用フォームからも申込が可能です。

FAXお申し込みフォーム(FAX: 023-634-9884)

(メールの場合 ivymiyagi@gmail.com)

①お名前 _____

②メールアドレス _____

③職業・所属など _____

④ゲストへの質問 _____

主催
問合せ先



HP: <http://ivymiyagi.jimdo.com>
E-mail: ivymiyagi@gmail.com

電話での問合せは、IVY山形本部へ
Tel: 023-634-9830 (平日9時半-18時)